

## 介護理解促進事業

今年度、本校は愛知県社会福祉協議会より「介護理解促進福祉協力校」に指定をいただいています。ボランティア部生徒が、講師の方から事前学習を受けた上で、長久手市内の「デイサービスセンターさつき」で介護職体験を実施しました。

### ◆事前学習会

講師の先生に来校していただき、「介護の仕事」について学びました。

- ・一口に介護と言っても様々な仕事があるが、今回は、お年寄りに来てもらい、食事や入浴、リハビリなどを行うデイサービスでの仕事。
- ・身の回りのお世話係ではない。人と人の触れ合い、自立支援の精神も重要。
- ・色々な人々との出会い、人の人生に関わる、地域社会に直接貢献できる、ということが介護職の魅力。
- ・想像力を働かせ、利用者や職員の気持ちを考えて、コミュニケーションをとること。
- ・その他に、介護という仕事の将来性や、待遇面が改善されていることにも触れていました。

### ◆介護体験の様子

A班：7月31日（火）～8月3日（金）

B班：8月21日（火）～8月24日（金）



バイタルチェック



夏祭りの一コマ



お年寄りとの会話



シーツの洗濯



食事の配膳



レクリエーションでの制作活動



夏祭りでの集合写真



お見送り

## ◆事後学習会

講師の先生に来校していただき、体験の振り返りと感想の発表をしながら、今後の福祉への関わり方についてアドバイスをいただきました。

### 【生徒感想抜粋】

- ★介護とは、その人がその人らしく生きるのをサポートする仕事だと思った。いつかデイサービスの仕事に就くのも良いかと思った。進路の選択が広がった。
- ★介護技術を覚えること、介護をすることは、経験を積みばできる。ただ大事なものは職業として長く続けること。そういうスタッフの方は対応力が違った。

事前学習も事後学習も「職業としての介護」、「進路選択のための体験」という視点が重視されており、体験と合わせて生徒の社会への意識が増したように思います。ボランティア部として普段から地域に出ることも多いため、大切な学びになったと思います。